

大会名称: 東日本大震災復興支援
第36回李相伯盃日韓学生バスケットボール競技大会

開催場所: 福岡市民体育館

試合区分:

期 日: 2013(H25)年5月19日(日)

主審: 相原 伸康

開始時間: 13:00

副審: 宇地原 尚彦・松本 究

終了時間: 14:45

JAPAN (1勝2敗)	○ 81	23 -1st- 21 13 -2nd- 24 25 -3rd- 19 20 -4th- 13	● 77	KOREA (2勝1敗)
-----------------	---------	--	---------	-----------------

東日本大震災復興支援第36回李相伯盃日韓学生バスケットボール競技大会第3戦。昨日の敗北により、優勝はなくなったものの日本学生選抜は勝って終わりたい一戦。序盤、日本学生選抜は、堅実なディフェンスから得点し、幸先良いスタートを切るが、第2ピリオド、韓国学生選抜の連続3Pシュートにより逆転を許す。後半、負けられない日本学生選抜は、ビハインドを最大9まで広げられるも、粘り強いディフェンスやルーズボールなど気持ちを全面に出し、じわじわと点差を縮める。そして第4ピリオド、勝利への執念が実を結び#10晴山のジャンプシュートでついに逆転に成功。2点リードで迎えた残り2秒、日本学生選抜#10晴山が、落ち着いてフリースローを2投とも沈め試合終了。81-77と日本学生選抜が2年ぶりの勝利を飾った。

第1ピリオド、開始早々、日本学生選抜は激しいディフェンスから速い展開に持ち込み、9点連続得点とリードを奪う。一方の韓国学生選抜も#10Kimの連続3Pシュートで対抗する。その後、両チームともに得点を重ね、23-21、日本学生選抜が3日目にして初めて、第1ピリオドをリードして終了。

第2ピリオド、韓国学生選抜の#8Bae、#9Moonの連続3Pシュート逆転し一気にリードを広げる。日本学生選抜は大会を通して、相手の高確率な外角のシュートに苦しむ。終盤、日本学生選抜は#15野本のバスケットカウント、#13坂東の3Pシュートで僅かに点差を縮めるが、韓国学生選抜は#8Baeのダンクシュートなどで譲らず、45-36と韓国学生選抜リードで後半へと進む。

第3ピリオド、序盤、日本学生選抜は#7藤井が体を張ったハッスルプレイから連続得点し、ビハインドを2まで縮める。しかし韓国学生選抜も、逆転は許さず、セカンドチャンスから外角シュートを沈め、点差を元に戻す。終盤、日本学生選抜は#11野本のインサイドプレイや#7藤井のドライブで得点を重ね、61-64と日本学生選抜3点ビハインドで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、残り6:50、日本学生選抜は#6字都の個人技、#10晴山のミドルシュートで逆転に成功。そこからさらに、#13坂東の3Pシュートも続きリードする。その後は互いに譲らず、一進一退の時間帯が続く。残り2秒、2点のリードを持つ日本学生選抜は、#10晴山が確実にフリースローを決めタイムアップ。81-77と日本学生選抜が接戦をものにした。